

News

<https://www.jmdp.or.jp/>
<https://www.jmdp-donor-special.jp/>

日本骨髓バンク

検索

- 発行2019年7月3日 公益財団法人日本骨髓バンク
 - 発行責任者 小寺良尚(理事長)
 - 編集責任者 松園正人(事務局長)
- 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-19廣瀬第2ビル7F
 TEL 03-5280-8111 FAX 03-5280-0101

CONTENTS

- 1・2 ドナーさんからもらった宝物
 対談 2人の移植経験者が語る命のバトン
- 3 語りべからのメッセージ / 3回目の手紙
- 4 広がるパートナーシップの和 [企業編]
- 5 ドナー登録された皆さん、知ってましたか?
- 6 日本骨髓バンクの現状 / 数字で見る骨髓バン子ちゃん
- 7 インフォメーション
- 8 ドナー登録者の方へ(重要なお願ひ) / 住所変更手続きのお願ひ

日本骨髓バンクの現状 ※2019年5月末現在

ドナー登録者数
51万5,815人

移植数
23,208例



ドナーさんからもらった宝物 2人の移植経験者が語る命のバトン



▲対談にご協力いただいた池谷さん(左)と樋口さん(右)

も異常なし。その1年後にスポーツのイベントで同じ血液検査をしたら、郵送で届いた検査結果に「骨髓異常の可能性が高い」と書かれていました。母は看護師で、それを伝えるとすぐ病院へ行くよと言われました。その翌日テレビをつけると、偶然夏目雅子さんの何回忌かのニュースが流れて「自分も絶対そうだ」とぞっとしました。演技学校のレッスンに通っていた頃で、シヨックでした。



▲治療当時の樋口さん

樋口さん(以下、樋口) はじめに体の左側のしびれがだんだん広がっていった、おかしいな。病院で脳、神経、血液を全部調べても何



病気と向き合つことになったとき
 どのような状況でしたか?

20代と30代で白血病を発症し、骨髓移植によって新たな命を得た元患者さん。その貴重な経験を通じて、現在語りべとして活動する2人の方にお話を伺いました。

それがなければ



▲精神的な救いになったのが友達存在(下が樋口さん)

樋口 最初は自家移植(患者自身の造血幹細胞を輸注する治療方法の予定でしたが、抗がん剤で肝臓がダメージを受けており、幸い白血病細胞が消えていたので経過観察に。1年後、数値に異常が出て骨髓異形成症候群(MDS)と診断され、移植しかないと言われました。治療の過程でMDSに転化してゆっくり進行する珍しいタイプで、それから3年間移植に適する時期を待ちました。治療は1か月おきに検査をするだけ。日常生活に支障なしでしたが、精神的にはその頃が一番きつかった。ある日医師から「移植するなら今です」と。骨髓バンクでドナーさんはすぐ見つかりました。移植にあまりいいイメージはなかったんです。つらい抗がん剤治療の1クールが終わって、周りがキラキラしているのを見るのがつらかった。でも友達とはみんないつもと同じように会話をしている。変わらぬ毎日を作ってくれました。疎外感を感じないように周りがしてくれました。



つらい治療をどうやって
 受け止めていきましたか?



▲治療当時の池谷さん

池谷さん(以下、池谷) 私が病気になったのは大学3年生の21歳のときでした。最初「急性リンパ性白血病」と言われても、わけがわから

なかつたです。1月末に入院し、2月に骨髓バンクに患者登録。5月にドナーさんの最終同意が確認できた。連絡を受けて、7月に骨髓移植。病気の治療が最優先で、将来のことを考えて準備できるような時間的な余裕すらありませんでした。



対談 ドナーさんからもらった 宝物

2人の移植経験者が語る命のバトン



▲移植後、新たな人生を送る樋口さん(左・中左)、池谷さん(中右・右)

とつくに心は折れていました。池谷 私もうでした。同級生は、就活の間をぬって会いに来てくれました。学校の友達、サークルやアルバイトの仲間も頻繁に会いにきて、入院前と変わらない会話で楽しませてくれて、辛い気持ちも、自分が病人だったことも忘れるくらいに幸せな気持ちに変わっていました。

最初に入院した大病院は骨髄移植の症例数が少なかったのですが、主治医の勧めで転院しましたが、こちらの病院も看護師さんがとてもアットホームで精神的にも助けられました。後になってその経験を看護学校の講演会で話した際には、生徒さんから「そういう観点があることを知ることができてよかったです」との声もいただきました。卒業旅行や所属していたストリートダンスサークルのイベントや学園祭に出られなかった悔しさはあつたけれど、その前後には必ず皆が会いにきてくれて、少しでも孤独や寂しさを感じないように、いつも考えてくれた彼らの愛や支えがなければ、絶対にあの日々は乗り越えられなかったと思います。

前処置治療(患者の造血幹細胞を全て失くすために放射線治療と大量の抗がん剤投与を行う強い治療)の期間中、深夜1時に注射をした直後、今まで一度も感じたことのない腹部の激痛に襲われ朦朧状態に。その後3日間ベッドにしがみついて痛みと闘っていましたが、不思議と移植の日に痛みが和らいでいったんです。



▲忙しい中会いに来てくれたサークルの先輩たち



▲入院当時のひとコマ

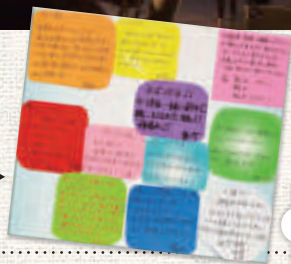
移植の経験を通じて 思うことは?

樋口 当時は若くしてこういう病気になった人のことは知らなかったし、ものすごく不安でいっぱいでした。だからこそ今こうして自分の体験を話して、こんなに元気になるんだということを知ってほしいなと思っています。ひとりの力ではどうにもならない。どんなに医学が進んでも、いい医者がいたとしても、周りに友達がいて、ドナーさんがいてくれたから今の自分がある。

『明日への扉』という骨髄バンク支援ミュージカルを行っているスクールオブミュージック専門学校の生徒さんを対象に講演したとき、「皆さんの演技を観た人が、あるいは皆さん自身ももしかしたら命を救える存在のひとりかもしれません」と直球で話しました。それを聞いて、「翌日稽古場の生徒たちの態度が変わった」と先生から聞いたときはうれしかったです。



▲移植経験を歌に込めてライブ活動を続ける



友達から勇気をもらえたたくさんの寄せ書き

池谷 自分が生かされているという気持ちがあります。自分にとって骨髄移植とは、死にかけて天に浮かんでいく自分の手を、顔も名前も知らないドナーさん

PROFILE



いけがや ありさ 池谷 有紗さん

21歳の大学3年生のとき急性リンパ性白血病を発症。翌年(2013年)7月骨髄バンクを介して骨髄移植。その後大学に再入学し2017年卒業。現在民間企業に勤務しつつ、数多くの語りべ講演会で活躍している。

(色紙と写真脇のイラストは池谷さん作のラインスタンプより)

ひぐち たいご 樋口 大悟さん

25歳のとき急性骨髄性白血病を発症し、1年後、治療性骨髄異形成症候群と診断。2008年(30歳)に骨髄バンクを介して骨髄移植。現在俳優業、空手インストラクターのかたわら語りべ活動に従事。音楽ライブ、自主映画の制作も手掛ける。



んが手をとって両親や友人のいる世界に引き戻してくれたような出来事でした。ドナーさんからもう一度生きるチャンスを与えてもらったのだから、毎日が貴重なプレゼントだと思わなきゃいけないなと。病気が自分から奪っていったものに葛藤したり、未だそんな気持ちを覚える時も正直あるけれど、それでも前を向いていくことで、いつか同じような気持ちを抱く誰かに寄り添うことができるとも思えない。人生で起きることには何か意味がある。そしてそれをプラスにするかマイナスにするかは自分次第ではないかと。語りべ活動も含めて、これからは少しでもプラスになつたかなと思えるようなことを、ゆっくり一歩ずつ引き続きやっていけたらと思っています。(談)



▲大学卒業を迎えて両親と

語りべからのメッセージ

ドナーさん体験談

あなたも語りべになりませんか

提供ドナーさん、元患者さんの体験談を募集しています。3回目の手紙も募集中です。全国各地で開催する語りべ講演会にご協力いただける方も大歓迎です。語りべご希望の方は下記までご連絡ください。

◆日本骨髄バンク 広報渉外部/講演会担当
pr@jmdp.or.jp (TEL 03-5280-1789)

こちらから語りべの登録もできます



▲「骨髄を脊髄と誤解していたのは、親だけでなく友人やお客様も。イメージの払拭は簡単ではないなと思いました」と語りつつこの笑顔!

必要とされるうれしさ

2014年の3月初めて献血をしたのをきっかけに骨髄バンクにも登録しました。「誰かのためになるならいいじゃん」と、献血の延長という感じで。

それから3年経った2017年5月、今でも鮮明に覚えています。誕生日の前夕日に骨髄バンクからの電話。その数日後に適合通知の入ったオレンジ色の封筒が届きました。あの意味「ものすごいプレゼント」です。「必要とされている!」とすぐに内容を確認し、必要事項を記入し返信しました。登録時から「通知がきたら絶対に提供する」と心に決めていたので迷いはありませんでした。

提供に際してはどうしてもお店(理容店)を休むことになりましたが、お客様に説明すると「頑張っというー」「そういうことなら賛成だよ!」「しっかりやっというー」と、皆さんにご理解いただけたのはうれしかったです。母親や妹は賛成していましたが、心配性の父親を説得するのは大変でした。父親が頑なに骨髄提供に同意しない理由を探って話をしていくと「半身不随になる!」「リスクが高い!」:半身不随?この言葉でピンと来ました。父親がなかなか同意しなかったのは、どこで覚えたのか間違った骨髄採取の方法でした。「骨髄は脊髄から採取する!」リスクが高

かすがい もとひろ
岐阜県在住 春日井 基弘さん
2014年3月ドナー登録
2017年8月骨髄提供

ハンドブックは骨髄バンクのウェブサイトでも閲覧できます



▲適合通知と一緒に届く「ドナーのためのハンドブック」

い!危険だ!」と思い込んでいたのです。採取方法等を説明したはずなのですが、「ドナーのためのハンドブック」を見せながらも一度説明し、やっと同意してくれました。

当日までの健康管理、体調管理、特に最終同意書にサインしてからは「もう自分ひとりの身体ではない!」と強く感じ、普段以上に気をつけて生活しました。術前健診の通院も採取の入院も、担当の医師をはじめ看護師の皆さん、そしてコーディネーターの方のおかげで、採取当日もその後も不安や心配は全くありませんでした。

さらに、適合通知が届いた5月から並行して今後ドナーとなる人のためにもきつと必要になる!と、骨髄ドナー経験者の意見として、自分の住む自治体へ「骨髄移植ドナー等の助成制度事業」の導入を働きかけてきたところ、2017年10月から開始されることになりました。休業補償がないため、自営業の場合はこつこつとした支援制度があると助かります。迅速に対応していただいた市長や各担当部署の方々には感謝しかありません。

自分が経験したこの骨髄ドナーのことをひとりでも多くの方に知ってもらえたら、また興味を持ってもらえたらうれしいです。「もう一度通知がきたらどうするの?」とよく聞かれますが、もちろん「また提供するよ!」って迷わず答えます。

3回目の手紙 患者さんから

ドナーさんへ

あなたのおかげで 毎日に ありがとう

骨髄バンクを通じて移植を受けた患者さんとドナーさんの手紙のやり取りは、移植後1年以内に2往復まで。「3回目の手紙」はお届けすることができませんが、このバンクニュース紙上にてお伝えさせていただきます。



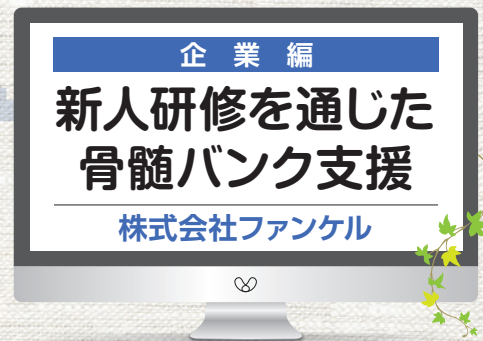
▲満天の星に輝くサハラ砂漠

あれから10年経ちました。移植の日のことはよく覚えております。無菌室のカーテンを全開にして、ベッドから上弦の月が移動していくのを不安な気持ちで見つめていたことを昨日のように思い出します。昨年は、モロッコのサハラ砂漠で見上げた満天の星と天の川がくっきりと素晴らしい光景を目にするのができました。イタリヤ、スペイン、トルコ、ドイツ、バルト三国、モロッコと色々な国から月を見上げて、毎年あの頃になると、感謝とともに提供してくださいました。貴女のことを思い出しております。その勇気や、元気に毎日を過ごしているだろうなとか...

毎朝、庭に出てお花や野菜を見るのが楽しみです。アスパラ、大根、ジャガイモ、ブロッコリー、カリフラワー等。とくにアスパラは採りたてを茹でて食べるとおいしい。宿根草(しゅうこんそう)根だけ残り毎年花を咲かせる草花や球根植物のことが芽を出すと、どんな花が咲くのかと楽しみです。よく土の中で季節がわかるものだと感じます。西国33力所巡りもできました。秩父・坂東も参りましたので、日本百観音を参拝できました。

このように元気に毎日暮らせるのもドナーさんのおかげと感謝しております。私は貴女に救われました。ありがとうございます。本当にありがとうございます。忘れたいことはないのにお礼の手紙が遅くなりごめんなさい。

★PARTNERSHIP★ 広がりが パートナーシップの和



横 浜港も近い緑濃い市中にはある株式会社ファンケルの本社。陽光が差し込む会議室に集まった新入社員40数名。昨年の新人研修から骨髄バンクに関する講演プログラムが組み込まれています。きっかけは同社のCSR活動の一つ

「もっと何かできるはず基金」での骨髄バンクへの寄付。同基金は2007年から始まり、従業員が働きながらでも参加しやすい社会貢献を目的として、基金に登録している従業員の給料から天引きされるというもの。基金に登録している従業員からの寄付先依頼を受け、運営委員会が審査して寄付先が決まります。マッチングギフトとして会社から同基金で集まった金額と同じ金額が加算されます。2017年度は計28件610万円にのぼり、設立以来の寄付先は297団体を数えます。

講演プログラムは移植経験者の体験談がメイン。講演者の壮絶な体験に熱心に耳を傾け、毎回涙する新入社員も見られます。新人研修担当者の方は「若い世代にもっと骨髄バンクへの正しい理解をしてもらおうと、昨年度に引き続き今年度の新入社員研修でも骨髄バンクの講演をしてもらいました」と語ります。

少しでも新入社員の方々に身近に感じてもらうために、今回の講演者は大学在学中に発症し移植を受けた20代の女性。ドナーから渡された命のリレーに改めて感謝と敬意を述べました。



▲株式会社ファンケル本社

「ドナーの方が私に再び生きる道を開いてくれました。心から感謝しています。たとえ最新の設備の病院で、有名な医師からの治療を受け、友人や家族の温かい励ましがあっても、提供してくれるひとりのドナーさんがいなかったら私はここにいません」。

日本骨髄バンクでは企業等への語りべを無料で派遣しています。お問い合わせは広報渉外部 講演会担当まで。
TEL 03-5280-1789



◀骨髄バンクの講演に参加していた新入研修の皆さんと

ドナー休暇の「壁」なくせ

骨髄バンクは

ドナー休暇制度の導入をサポートします



ドナーさんが骨髄または末梢血幹細胞を提供するには、検査や面談等のため、平日の日中に医療機関へ出向いたり、骨髄等採取を行う際には入院する必要があり、合計で8～10日前後の休暇が必要となります(半日休含む)。

そのための休暇を、勤務先の就業規則において、特別休暇の1つとして認める制度が「ドナー休暇制度」です。勤務先に「ドナー休暇制度」があることは、ドナーさんにとって、心理的・肉体的な負担の大きな軽減になります。

日本骨髄バンクでは、企業がこうした制度をより導入しやすくするための環境作りを推進するため、専任の職員を派遣し、ドナー休暇制度導入に向けて詳しいご説明をさせていただきます。詳しくは下記あてお問い合わせください。

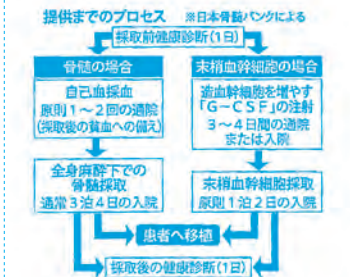
日本骨髄バンク 広報渉外部ドナー休暇制度担当
TEL 03-5280-8111

骨髄バンク体制強化

「ドナー休暇制度」の導入を支援するため、日本骨髄バンクは、ドナーさんの負担を軽減し、骨髄バンクの体制強化を図っています。また、ドナーさんの負担を軽減し、骨髄バンクの体制強化を図っています。

「リスク理解して登録を」

「リスク理解して登録を」... 骨髄バンクの体制強化... 骨髄バンクの体制強化... 骨髄バンクの体制強化...



▲2019年3月13日 毎日新聞 朝刊より(無断転載・複写不可)

ドナー登録された皆さん、知ってましたか？



新しくドナー登録された方、登録してから長い間適合通知を待っている方、なんとなく知っているけどよくわからないことはありませんか？ そこで今回はよくある質問にお答えします。

Q 適合通知はいつ届くの？



A 患者さんとHLA型が適合すると適合通知が送られます。HLA型の適合は個人差が大きく、すぐ患者さんと適合することもあれば、数年かかったり、通知が来ないまま登録年齢の卒業を迎えることもあります。いつ届くかはわかりませんが、オレンジ色の大きな封筒が届いたら、それは適合のお知らせ。すぐに返信または電話をお願いします。

患者さんは
あなたを
待っています！

住所変更は
日赤ブロック血液センターへ



Q 住所変更はどうしたらいいの？

A 住所不明では患者さんと適合したことをお伝えできません。専用サイトかお近くの日本赤十字社ブロック血液センターへ電話でご連絡ください。(8ページ参照)

Q 提供には家族の同意が必要ですか？

A 提供には、ドナー本人の意思だけでなく、家族の同意を必要としています。最終同意面談には、家族代表の方(ご両親や配偶者など)にも同席いただき、同意書に署名いただきます。



職場や家族の
協力が必要ね

Q 提供まで何日かかるの？

A 提供にあたっては、検査や面談等で8回前後医療機関にお越しいただきます。骨髄提供の場合は3泊4日程度、末梢血幹細胞提供の場合は4泊5日程度の入院が必要になります。適合通知が届いてから提供に至るまで約2~3カ月の期間を要します。

Q 採取による痛みはありますか？

A 骨髄採取は全身麻酔で行います。採取時に痛みは感じません。麻酔が覚めた後の痛みは個人差があり、1~7日間で消失した方がほとんどです。末梢血幹細胞採取の場合、白血球を増やす薬の影響で骨痛が出ることがありますが、薬の効き目がなくなれば消失します。また、採取の針を刺したところや周りが腫れたり青くなるがありますが、通常は1~3週間で自然に治ります。

Q 採取の後遺症はないのですか？

A ほとんどありません。年に数例、しびれや違和感など、主に知覚的な問題が長く続き、保険金支給された事例があります。しかし、日常生活が送れなくなるような事例はありません。

何かあった時の
補償は？



Q 提供ドナーに対する補償はありますか？

A 「骨髄バンク団体傷害保険」に加入しています。保険金額は最高1億円です。



「提供の流れ」がわかる
アニメもみてね！

CHECK!

日本骨髄バンクの現状

非血縁者間骨髄移植および末梢血幹細胞移植の状況

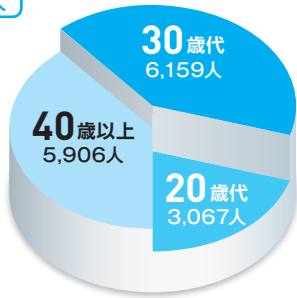
2019年3月末現在

提供者の状況

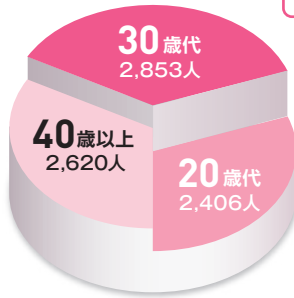
年齢・男女

※採取されたものの移植に至らなかった9例が含まれています。 **23,011件**

男性 15,132人



女性 7,879人



コーディネーター状況

(1992年から2019年3月までの累計)



780,197件

ドナー登録者累計数



307,245件

HLA適合報告ドナー人数



109,217件

確認検査済みドナー人数



26,730件

最終同意面談人数



22,820件

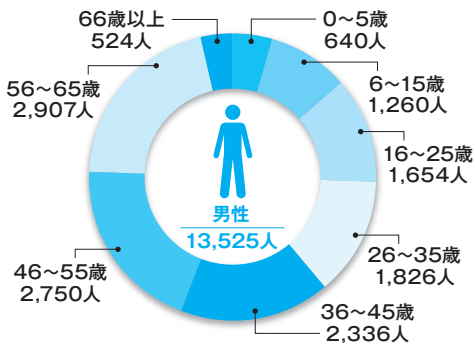
採取実施人数
※海外ドナー191人を除いた国内の数

移植患者の状況

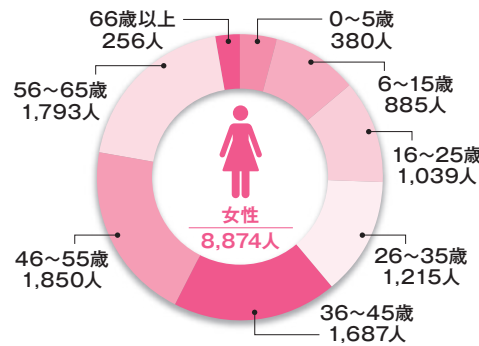
年齢・男女

23,002件

男性 13,897人



女性 9,105人



ドナー登録情報の取扱いについて

日本骨髄バンクでは、骨髄バンク事業関係者による事業改善、推進等の研究を行うため、個人が特定できない形にしたうえで、ドナー登録者の方の個人情報を使用させていただくことがあります。その場合、必要な倫理審査を行います。ご不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。日本骨髄バンク TEL 03-5280-8111 または pr@jmdp.or.jp

数字で見る骨髄バン子ちゃん

気になるデータに

ズームイン

ドナー候補者に選ばれる人の割合は？

これまでにドナー登録された方は累計で約74万人。そのうち骨髄バンクから「ドナー候補者に選ばれました」と連絡がきた人は**全体の39.3%**。そのうち、**実際に患者さんに骨髄等を提供した人は2.7%の割合です。**
(2019年3月末現在データに基づく)



連絡が来た人は全体の **39.3%**

2.7%

実際に提供した人は **約2万人**



【出典：(公財)日本骨髄バンク】

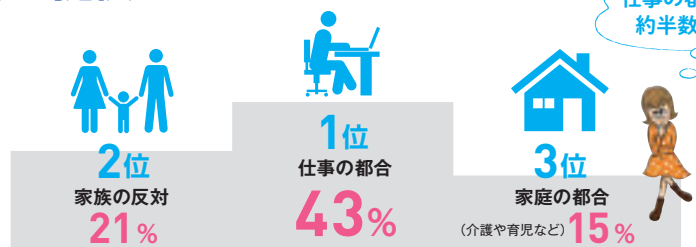
- ・連絡がきた人の割合 **39.3%** (307,245人)
- ・実際に提供した人の割合 **2.7%** (21,120人)

ドナー候補者に選ばれても実際に提供できなかった理由とは？

アンケート調査によると、ご自身の都合で骨髄等を提供できなかった人たち315人のうち、仕事の都合での理由が約半数を占めています。

- 1位 仕事の都合 43%**
- 2位 家族の反対 21%**
- 3位 家庭の都合 15%**

骨髄バンクから「ドナー候補者に選ばれた」と連絡がきた人のうち、骨髄等を提供できなかった人に対するアンケート調査(2017年4月~5月、回答数315人)



仕事の都合が約半数...

【出典：平成28年度~平成30年度厚生労働科学研究費補助金・難治性疾患等政策研究事業「骨髄バンクコーディネーター期間の短縮とドナープールの質向上による造血幹細胞移植の最適な機会提供に関する研究」】



©長野県アルクマ

予告

骨髄バンク推進 全国大会 2019 in 長野

今年も世界骨髄バンクドナーデーのイベントに合わせて、骨髄バンク推進全国大会を開催します。今年の開催地は長野県長野市。同県はドナー登録を推進するため堅実な取組みをたゆまず続けています。骨髄バンク運動を支える熱いファイトをみんなで応援しましょう！すてきなゲストもお招きします。どうぞお楽しみに！



▲アクティホール

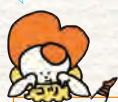
開催日	会場
2019年9月21日(土)	アクティホール(JA長野県ビル隣接)

*全国大会2019のプログラムは、8月以降ホームページでご案内します。

全国大会2019に参加してカレンダーをゲット!

必ずもらえるよ

骨髄バンクカレンダー2020できました!



裏面には骨髄バンクの情報が掲載!

昨年引き続き、骨髄バンクのオリジナル卓上カレンダー第2弾です。1部500円(税別)で、売上の一部が日本骨髄バンクに寄付されます。今回はスペシャルサイトのキャラクターが登場。お求めはamazon.co.jpへ今すぐアクセス!名入れをして社会貢献型のPRグッズにもご利用いただけます。あなたも骨髄バンクを応援しませんか?名入れのご注文は下記で受付しております。(株)紙工芸やまだ TEL:0877-75-6625

<http://www.kamikougei.co.jp/products/calender3.html>

求む!

骨髄バンクコーディネーター



日本骨髄バンクでは、コーディネーターとして活動いただける方を募集します。養成研修会を受講後、コーディネーターとしての認定を受け、当法人からの委嘱に基づき活動していただけます。

詳細は「コーディネーター養成研修会 受講者募集要項」へアクセス!



●募集地域(下記の地域で活動可能な方)

- 北海道 帯広、釧路、札幌
- 東北 秋田、宮城、山形
- 関東 茨城、神奈川、埼玉、千葉、東京、栃木、長野、山梨
- 中四国 愛媛、岡山、広島、山口
- 九州 沖縄、熊本、福岡(北九州)、宮崎

●募集人数 各地域とも若干名

●応募資格

- ・原則25歳以上の健康な方
- ・骨髄バンク事業を理解し、熱意を持ってコーディネート業務に時間と労力を割くことができる方

- ・ただし骨髄バンクに登録中の患者さんやその家族、特定の患者の支援活動をしている方は除く
- ・スマートフォンやタブレット端末等の操作ができる方

●研修期間 2019年10月~2020年3月

*東京での開講式・集合研修:10月4日(金)~10月5日(土)

●応募方法 履歴書(写真貼付)、職務経歴書、受講動機(400字原稿用紙1枚)を添えて下記までお申込みください。応募書類は返却しません。

●応募月切 2019年8月30日(金)必着

●応募先(問い合わせ先)

〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-19
廣瀬第2ビル7階 (公財)日本骨髄バンク
「コーディネーター養成研修会」係
TEL 03-5280-2200



山梨県の「ドナー登録説明員」募集!

山梨県は「ドナー登録説明員」が不足しており、ドナー登録数が十分に確保できていません。そこで、ドナー登録を推進するため「ドナー登録説明員」を募集します。事前に所定の研修を受講していただけます。医療に関する特別な知識は必要ありません。

【業務内容】

- ・登録会の企画、および登録会開催にあたっての関係機関との連絡調整
- ・献血バス等の献血会場での登録会における説明および登録手続きの実施

【募集対象】

- ・山梨県在住の方5名
- ・18歳以上、50歳以下の方
- ・骨髄バンク事業を理解し、熱意をもってドナー登録説明員業務に従事できる方等

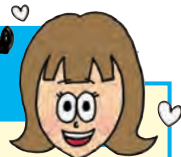
【応募月切】2019年7月31日(必着)

【問い合わせ先】日本骨髄バンク 広報渉外部/登録会担当 TEL 03-5280-1789

応募方法は左記へアクセス!



ドナー登録者の方へ(重要なお願)



- 登録したものの、**今後、骨髄・末梢血幹細胞の提供のご意思のない方につきましては、「登録取消」をお申し出いただきますようお願いいたします。**

現時点で提供意思のない場合は、本号同封の変更はがきにて、「提供意思なし」の項目にチェックをご記入のうえ、ご返送ください。

※登録取消された場合は、バンクニュースのお届けも中止します。

※登録取消後に再び登録される場合は、改めて登録申込書の記入と採血が必要となります。

- また、**提供意思のある方で、ご事情により提供いただけない期間がある場合は、「登録保留」をお願いいたします。**変更はがきに保留期間を記載のうえご返送ください。

何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

ご不明な点は、日本骨髄バンク

TEL 03-5280-1789 までお問い合わせ下さい。

住所や電話番号の変更、忘れていませんか？

日本骨髄バンクでは、原則として登録内容の変更は受け付けておりません。住所などの変更、ドナー登録の保留※や取消の手続きは下記①～④の方法でお願いします。

(※「保留」とは治療中・海外勤務・出産等の理由で提供を希望されない場合に、一時的に登録を保留にすることです)

① ウェブサイトで

造血幹細胞移植情報サービス



(骨髄バンク・さい帯血バンクポータルサイト)

<http://www.bmdc.jrc.or.jp/>

bmdc

SEARCH

アクセスコードも
必要になります!



1. トップページ「骨髄ドナー登録者の方へ」から「登録内容変更ページ」を開き、ログイン画面でアクセスコード、生年月日、メールアドレスを入力し「認証」ボタンを押します。

※アクセスコードは、今号(54号)の宛名台紙および登録確認書等に印字されています。アクセスコードがわからない場合は、②または④の方法で手続きできます。

2. 1で入力したメールアドレスに届く専用URLにアクセスし、一緒に届くワンタイムパスワードと生年月日を入力してログインします。

3. 変更する項目を入力・確認して完了!!

※上記の方法で現在の登録内容も確認できます。

② 電話で

日本赤十字社ブロック血液センターまでお問い合わせください。

※電話受付は平日(月～金)の9:00～17:00です。

北海道ブロック血液センター 011-613-6683

管轄地域 北海道

東北ブロック血液センター 022-354-7083

管轄地域 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東甲信越ブロック血液センター 03-5534-7534

管轄地域 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県

東海北陸ブロック血液センター 0561-85-4298

管轄地域 富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿ブロック血液センター 072-643-1173

管轄地域 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中四国ブロック血液センター 082-241-1614

管轄地域 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州ブロック血液センター 0942-31-8974

管轄地域 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

③ バンクニュース同封の変更はがきで

今号(54号)に同封の宛名台紙の下にある変更はがきを切り取り、変更内容をご記入のうえ、目隠しシールを貼って投函してください。

④ 献血ルームで

最寄りの献血ルームの受付窓口で、登録内容に変更がある旨をお伝えください。

その場で用紙にご記入いただけます。後日、お近くの日本赤十字社ブロック血液センターからお電話で変更内容について確認させていただく場合があります。

※献血ルームの所在地、受付時間等は、上記①のウェブサイトのトップページから「一般の方へ」→「ドナー登録したい」を選び、「登録受付窓口」をご覧ください。

大切なことなので
お早めに!

